

文教・警察常任委員会 県内行政調査

1 調査日 平成25年8月6日(火)

2 調査の概要

(1) 月輪自治会館およびその周辺地域(大津市)

瀬田東公民館(大津市)

大津市瀬田東学区は、通学路等での子ども見守り活動やパトロール、安全点検など、子どもの安全に関する活動について、地域ボランティアが中心となって熱心に取り組まれている地域である。平成22年3月には、子どもの安全と犯罪抑止を目的として、防犯カメラ25台が設置されたが、その運用・管理についても地域ボランティアが行っている。

このことから、防犯カメラの運用・管理について現地視察するとともに、地域ボランティアと県民参画委員会を実施し、地域における自主防犯活動について意見交換を行った。



地域ボランティアからは、子供の笑顔を励みに活動しているが、メンバーが減ってきており、もっと多くの人に参加してもらいたいとの意見が出された。また、委員からは、警察が活動を支援する必要がある、地域と警察とが意見交換できる場を設ける必要がある、などの意見が出された。

(2) 草津警察署(草津市)

草津警察署の管内は、人口増加が著しく、刑法犯罪の発生件数も増加するなど、治安を維持する上で特に対策が必要な地域である。

また、庁舎は昭和44年に整備され、築43年の経過により老朽化が進んでいるが、地震発生による倒壊の恐れが指摘されており、耐震補強工事が来年度に予定されている。

このことから、草津警察署の管内の治安対策や庁舎の現況について調査を行った。



(3) 大津市立打出中学校(大津市)

県内の各学校は、不登校、いじめ、暴力行為等、生徒指導上の諸問題を抱えており、これら課題への対応が強く求められている。県教育委員会としても問題解決に向けた各種施策を講じ、支援を行っているところであるが、より効果的で充実したものとすするためには、学校現場の現状をしっかりと把握することが大切である。

また、今回訪問する大津市立打出中学校は「協同的な学び」の推進を中心とした授業改善やICTを活用した学習活動に取り組まれているところであり、効果的な学習活動についても参考とすることができる。

このことから、当該中学校を訪問し、公立中学校における生徒指導や学習活動の状況について調査を行った。

